

2011-A			
国際機関名 (英語略称):	アジア海賊対策地域協力協定情報共有センター(ReCAAP ISC)		
英文名称:	Regional Cooperation Agreement on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships in Asia, Information Sharing Centre		
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 その他
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省総合外交政策局海上安全保障政策室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
2001年11月、小泉総理(当時)がアジアの海賊問題に有効に対処すべく地域協力促進のための法的枠組み作成を提案。我が国主導の下、本協定の作成交渉が開始され、本協定は2004年11月に採択され、2006年9月に発効した。2006年11月には本協定に基づく情報共有センター(ISC)がシンガポールに設立された。ISCは、ReCAAP締約国間において海賊等事案に係る情報の共有を図るとともに、各締約国における能力構築の支援を行っている。ISCによる取組みはアジア海域における凶悪な海賊等事件の減少及び抑止に貢献している。			
【当該国際機関の財政(2011年予算)】			
当該年度の総収入額: 2,736,715 シンガポール・ドル			
当該年度の総支出額: 2,681,127 シンガポール・ドル			
次年度への繰越額: 55,588 シンガポール・ドル			
会計検査機関名: LTC LLP (現在の構成員の出身国: シンガポール)			
【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(シンガポールドル)	拠出率(%) (注)
1位	シンガポール	1,586,020	58.39%
2位	日本	637,613	23.45%
3位	オランダ	127,545	4.67%
4位	ノルウェー	127,210	4.67%
5位	韓国	112,737	4.12%
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【当該国際機関で働く邦人職員】			
邦人職員数	2 人	当該機関全体の職員数	16 人
うち幹部以上	うち 1 人	及び邦人職員が占める率	12.5 %
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
	ポストの名称	職員氏名	備考
	事務局長	遠藤善久	外務省OB
【注: 当該国際機関の会計年度】 当該国際機関の会計年度は毎年4月から翌年3月末までとなっている。			